

# 小須戸公民館報

町館 戸館 須館 小館  
発行所 中央公民館  
発行人 岡 謙  
発行日 毎月 15 日



## 皆さんからの参加お待ちしております 講座や教室を開きます ＝申し込み・問い合わせは中央公民館へ＝ (☎38-2234)

平成九年度の事業がスタートします。今年も中央公民館では、誰でも参加できる教室・講座を開級します。友達同士・お一人でも気軽に参加していただきたいと願っています。

初心者の方、大歓迎です。多数の申込みを待っています。  
☆生涯学習事業

### 「初心者講座」

●五名程度の小グループで学習したい人たちに、いつでも有志指導者の方を派遣いたします。詳細についての相談は、中央公民館へどうぞ。待っています。

●多様な学習に応ずる指導者を登録しています。  
自薦・他薦は問いません。みなさんに自分の技術を教えてあげたいと常々思っている方は、遠慮なく中央公民館へお知らせ下さい。

☆幼児家庭教育学級  
つくしんぼ

### あすなるっ子広場

お母さん方から、子供の知識(病気・食事・遊び方)を学習して、交流を深めましょう。

日時 五月から毎月第三水曜日  
午前十時から十一時三十分  
会場 中央公民館 外  
対象 四才以上六才までの育児者  
内容 表IIのとおり

### つくしんぼ

### ☆親子チャレンジ教室

親子揃っての団体行動や取り組む事よっての親子のふれあいを高めていくことをねらいとしています。待っていますよ!!

日時 五月から毎月第二土曜日  
午後一時三十分～三時三十分  
会場 中央公民館 外  
年会費 大人千円・子供五百円  
募集人数 小学を持つ親子二十組  
内容 表IIIのとおり

☆折り紙教室  
昔からの伝承文化の一つ折り紙。この一枚折り紙で色々な形を作ってみましょう。

日時 五月から毎月第一と第三  
月曜日

## ちよこつと一言 (108)

### 私の登山日記

一九九七年元旦。家でぼんやりしていても、と思いきや菩提寺山へ初ハイキングを試みました。登山者名簿を見ると、既然大勢の人たちが登っているのは全くの驚きでした。  
二月のある晴れた日曜日には主人と三歳の孫と護摩堂山へと車を走らせました。駐車場周辺



矢代田十一  
田沢芳江 さん

は里と遠いかなりの雪が積もっているのに、何台もの車が停まっています。一体何があるのかと不思議に思いつつ登って行くと二人、三人と下山して来る殆どが中高年者。改めて、中高年の登山熱とそのパワーを感じました。健康が何よりの宝物。雪が消えたら今度は何処へ行こう。まず角田山の雪割草も見たいし、雪消えが待ち遠しい日々です。

### ☆花いっぱい教室

「花」を愛し、心を豊かに生活をリフレッシュするため、参加してみませんか。  
日時 四月から毎月第二土曜日  
午前九時三十分～十一時三十分  
会場 中央公民館 二階会議室  
対象 一般男女  
募集人数 二十名  
会費 年五百円プラス材料費  
指導 板谷弘子さん(鎌倉)

### ☆初心者カヌースクール

小須戸町の若者たち「カヌー」にトライしてみませんか。  
日時 七月十三日(日)、二十七日(日)、八月三日(日)  
午後二時～四時  
会場 三川村B&G海洋センター  
対象年齢 十八才以上  
募集人数 二十名  
経費 千八百円(用具使用料)

### ☆パソコン講座

パソコンを有効に活用するための技術や知識を学習してみませんか。  
日時 八月十八日(月)から二十二日(金)  
午後七時～九時十分  
募集人数 二十名  
(但し、キーボードを打てる方を対象とし、定員になり次第打ち切ります)  
講師 三市中東視覚教育協議会 大沢先生・坂上先生

### ☆陶芸入門教室(夜間)

自分でつくる楽しさを味わってみましょう。その結果……  
日時 四月から毎月第一と第四  
金曜日  
午後七時から九時  
会場 陶芸場(大川前四)  
募集人数 二十名  
会費 五千円(用具材料代含む)  
講師 田辺一廣先生

### ☆ゴルフ入門教室

昨年は、女性を対象として開級したところ、大好評でした。今年は男女を問いません。  
日時 五月から毎月第一と第二  
土曜日  
午後一時三十分～三時三十分  
募集人数 二十名(一般男女各十名)  
会費 二千円(保険金)  
講師 五十嵐昭孝さん(横川浜)

### ☆おもしろ雑学講座

知って得する、見て、開いて絶対タメになる講座です。  
日時 五月から毎月第二金曜日  
午後七時三十分～九時  
会場 中央公民館二階会議室

### ☆生きがい講座

楽しい老後の過ごし方を様々な角度から学んでみませんか。詳細については、その都度公民館報でお知らせします。

### ☆平成八年度 矢代田分館 婦人学級閉級式

二月二十八日(金)ふれあい会館において、矢代田分館婦人学級の閉級式が行われました。又、交通安全婦人部の講習会も行われ、交通安全の映画や斉藤所長さんよりのお話がありました。

### ☆視覚覚講座

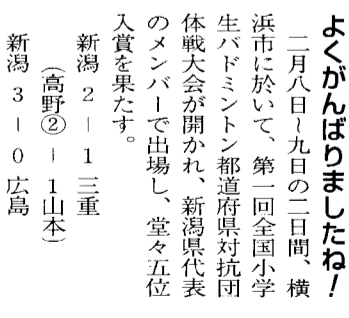
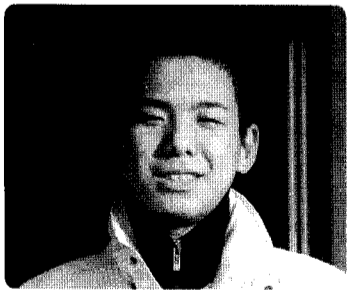
視覚覚機材(16ミリ映写機・ビデオカメラ・OHP等)の操作については、その都度公民館報でお知らせします。  
☆新津南高等学校  
「学校開放講座」  
今年も引き続き、県立新津南高等学校「学校開放講座」を開設いたします。詳細については、その都度公民館報でお知らせします。

### 吉田朗君(小須戸中) 日本代表選手に決まる!!

二月十七日、全日本柔道連盟から、小須戸中学校へ朗報が入りました。  
四月初旬にイタリアで開かれる「ジュニア国際柔道大会五十kg級」の選手として派遣してもらいたいとの事でした。さっそく、吉田朗君に今の感想を聞いてみました。  
「本当に嬉しいです。毎日の練習は厳しいけど、柔道はおもしろいです。初めての国際大会なんですけど、精一杯がんばってきたいです。」  
練習の途中で、息をはずませながら、ハキハキと答えられました。  
特に、怪我等には充分気をつけてください。  
平成八年度 矢代田分館 婦人学級閉級式  
二月二十八日(金)ふれあい会館において、矢代田分館婦人学級の閉級式が行われました。

### 高野孝子さん(蔵町三) よくがんばりましたね!

二月八日・九日の二日間、横浜市に於いて、第一回全国小学生バドミントン都道府県対抗団体戦大会が開かれ、新潟県代表のメンバーで出場し、堂々五位入賞を果たす。  
新潟2-1(三重)  
新潟3-1(山本)  
新潟3-1(広島)  
(高野2-1(0)検査)  
新潟0-2(宮城)  
決勝トーナメント  
小須戸町老人クラブ連合会  
親善輪投げ大会  
三月二日(日)小須戸小学校体育館において、百五十名の選手が集い、第十一回親善輪投げ大会が開催されました。  
大会結果  
団体戦  
優勝 横川浜第一チーム  
準優勝 矢代田第四チーム  
三位 小須戸第三チーム  
四位 松ヶ丘第一チーム  
五位 矢代田第三チーム  
個人戦  
優勝 田中清作さん(新町三)  
準優勝 加藤ミネさん(矢代田三)  
三位 中山トシイさん(矢代田二)  
特別賞  
平間甚一さん(矢代田三)  
中山トシイさん(矢代田三)



高野孝子さん(蔵町三) よくがんばりましたね!

# な環境にしよう!!

## 視察して~

### 町民海外研修で、ヨーロッパと小須戸町の

### ちがいに触れてみました。

町では、国際的視野を広め、国際感覚を備えた人材を育成するため、平成七年度から海外視察研修を開始しました。今年度で三回目のテーマは、主に「ゴミ問題」。

視察を終え、「見て」、「聞いて」、「感じた」ことを参考に、将来の町づくりの為にどうしたらいいのかを語っていただきました。

十月二十七日から十一月二日までの間、ヨーロッパのドイツとイスを視察されました。

又、研修前にはドイツ語の語学研修や研修の心がまえについての学習を行いました。

参加者は十二名(一般参加者十一名・引率職員一名)でした。小須戸町では、将来に向かって、国際感覚を養うため、この事業は継続していくことと思

います。

**自然は自然のまま**

司会：一般公募での町民海外研修は小須戸町初めての取り組みでした。今回の主な目的は、ドイツの環境問題に対する行政や市民の取り組みの実態についてです。皆さん、行く前の知識と実際に行ってみての印象は何かでしたでしょうか。

阿達：色々話を聞いて想像はしていましたが、「白濁は一見に如かず」という感じを受けています。

ヨーロッパは、日本と比べて文化的な面が昔から発達していて、建物を見ても違って見えるなあと感じました。

その他、研修先のフライブルクで環境局長さんからの話を聞いて行政が環境問題に力を入れていることも感じました。

今回の研修目的である、環境問題に対しては、行政の中で専門的な部門を設けて部門ごとに対処してこられたという姿を見て、当町も自然環境に対する問題等も取り上げてもらわなければ

ならないということ、町民にそのことが理解されて町民の協力も大切だと感じてきました。

行政の力と市民の力が一体とならなければ、環境政策や環境問題が解決されないということや地域の風土によって生活の仕方が違っていると政策の方法も違ってくると思いました。

小林ユリ：行ってびっくりしたのは電線のない街だなあ。石畳の素晴らしい、きれいな街でしたね。

吉田：整然とした街並みで、空き街が広がっているのは見ませんでした。

青木：敬服することばかりでした。が、タバコのポイ捨てについては日本もドイツも変わらない部分もありましたね。内心幾分ホッとしました。

山田：私は、仕事柄見てこようと

思ったのが、街づくりにとか都市の再開発の度合いでした。

むこうは、中世の歴史があるせい

かどうかわかりませんが、古い街並みを残しながら、近代的なものを何の違和感もなく、町並みを形成している。

日本はどちらかというと、古いものを壊して新しいものをつくっていくという町の開発

のあり方が多いようですがどうかかなあと疑問を感じました。日本も見習って、新しいなかに古いものも残しながら開発をしていくという行政の考え方も大事だと思えます。

米田：環境問題も多岐にわたり自然保護・交通・都市づくり・廃棄物処理・エネルギーという面で熱心に対策を立てて行政が対応していると感じました。

小林達：今回、スーパーに寄つてみた時のごみですが、缶入りとか箱入り等が売られていないかつたし、自動販売機も全然見あたりませんでした。流通段階の中の取り組み方に感心してました。日本の場合は、サービ

ス中心で一見思まれているように思いますが、最終的なゴミ処理についてはまだまだ問題が数多くありますね。

田沢：私もゴミ問題で行くという

ことで、ゴミを探しましたが、ゴミヤカが見えなくて、原因である自動販売機がないんですね。いかに、力を入れていくというか、力の入れ所が違う！一生懸命なんだなあ。と思いました。

佐藤：環境問題の中で、特に心を豊かにする環境とは何かなあと

いうことで考えて回ってききました。ゴミがないことも心を豊かにする一因だともいえますが、建物にある彫刻とか街角の音楽やごく自然に子供や大学生が本を読んだり、おしゃべりをしたりしている。そんな環境が心を豊かにしているのではないかと感じました。

司会：無理をして環境を守ろうという感じがなく自然として習慣として環境を守る。このことを土台にして日常生活を営んでいるという感じを受けました。

**ドイツで感じたこと**

司会：次に、皆さんから視察中興味深く見てきたというのがあり

ましたらお願いします。

佐藤：フライブルクでベッヒレという川がありましたが、子供たちが落ち葉を流して遊んでいるのを見ると、これくらいなら危なくないだろうし、こんな所で遊ぶんでいられるなんていいなあと思いました。彫刻やステンドグラス等生まれた時から自然とあるのだから、特別「あー！」と思わなくても、生まれた時からそれが当たり前だから私もそんな環境で育つたのかもしれないと思います。

阿達：先程、電柱の話が出ましたが、市街地には電柱は見当たりませんが、農村自体にも自然環境の中に自然らしい生活をする為に配慮がされている

と思いました。おそらく中世以来の長い歴史の中で培われたもので、新しい街をつくる際に電柱をなくしようというものはないのではないかと感じてお

ります。

吉田：私は、ホテルに到着しての感想ですが、トイレトペーパーの幅が小さいなあと思ったんです。日本のと比べてみたら



12名の皆さんから色々な意見をいただきました。

### 公民館報特集「町を豊かな環境にしよう!!」

座談会参加者 (順不同：敬称略)

- 渡辺安喜雄 (助 役：座談会参加)
- 阿達昭五 (雁 巻 町 1：視察研修参加・団長)
- 小林達喜 (舟 戸 1：視察研修参加)
- 米田静夫 (鎌 倉：視察研修参加)
- 青木善明 (新 栄 町 1：視察研修参加)
- 山田千尋 (横 川 浜：視察研修参加)
- 小林ユリ (矢代田第11：視察研修参加)
- 佐藤弓槻子 (矢代田第6：視察研修参加)
- 田沢迪子 (矢代田第6：視察研修参加)
- 吉田マツ (新 町 2：視察研修参加)
- 加藤正樹 (総 務 課：視察研修参加) …司会
- 木伏広美 (総 務 課：座談会参加)

### 「ゴミ事情を比較して

司会：では、この辺で本題である日本とドイツのゴミ問題についてを考えてみましょう。

現在、生産・購入・廃棄の過程でゴミ処理のコストを誰が負担するかというと、日本の場合は各自自治体で負担しています。しかし、ドイツの場合生産者もゴミを出す商品を出せば出すほどコストがかかるようになっていまして自分でお金を払わなければならない。そうすると、ゴミのコストを減らすためゴミを減らそうというシステムが生まれてきます。しかし、日本はそこまでしていないので住民の皆さんがゴミを出さないもの



左から吉田さん、小林さん、木伏さん

を買わないという視点が必要でないかと思えます。

木伏：紙コップで飲むジュースは日本ではいっぱいありますがドイツでは紙コップを使うと少し値段が高いそうですね。だから、自分でコップを持っていく

「再利用だ」といったところで、社会の経済の仕組みをさかのぼって考えていかなければならないですね。

田沢：むこうは、合理的という

か無駄がなかったですね。包装紙もきれなかったね。こちらでは、色々な面で無駄が多いかと思っています。

小林達：私もそうだとおもうんですが、昔は、買物に来る奥さんは風呂敷持参で来て、味噌や正油等を計り売りでやっていたもの

です。今では、青木さんのおっしゃった生活にどっぷり浸かっています。考えたのですが、なかなか難しいなあと思います。

司会：小耳に挟んだんですが、事前に白根市の衛生センターを見てきた方がおられるようですよ。

小林達：私は、新潟市から越してきたんですが、小須戸町の状



生ごみ用やリサイクル用に分別され収集されています。

# 特集 加 豊 町 を 豊 か する

## ～ 欧州地域を ～



左から阿達さん、渡辺助役、加藤さん

一、新聞類は月一回ですので、混ぜて出さないよう  
二、分類ごと、指示された日は守ってもらいたい  
この二点を良く伝えてもらいたいとの事でした。  
助役：私は二年前、群馬県の安中市へゴミ問題で研修に行ってきた。うちの町と同じように、広域の施設を持つている所でしたけれど、ある村ではゴミを焼却したり、生野菜をサイロ

のような所に集めて肥料にした  
りしてやったら、広域に持ち込  
むゴミが三分の一に減ったそう  
です。もちろん、ゴミ処理は有  
料ですからこのことにより村の  
負担も少なくなったとの事だ  
た。隣りの新津市も有料化され  
ているけれど、やがてそうなっ  
ていくんでしょうね。  
田沢：主婦の立場から言うと、  
有料化にはちよつとという気も  
するんですが、ゴミの減量とか  
分別とかを考えるとしかたがな  
いかなあと思っています。  
実際ゴミ処理している現場と  
かゴミステーションの現状とか  
見てみるのも必要だと実感して  
います。

小林：ゴミ処理をしている方  
の大変さとかこういうことをし  
てもらうと困るとかを私も含め  
全員で考えねばなりません。  
司会：ドイツでは、子供の時か  
ら環境に対する教育をしたり、  
みんなが劇をやったり、ゴミカ  
レンダーを作ったりしている  
ということでした。  
小林：ドイツのゴミ箱のまわ  
りはきれいでしたね。  
小林：今、日本では資源とし  
て回収する方を入れるか、  
どうやって処理するか。この二  
つの方法が考えられると思いま  
すが、小須戸町の場合は、技術  
で処理している訳ですが、欧州  
では、資源として回収するのだ  
から混せては困るという考え方  
なので、発想の転換が大事では  
ないでしょうか。  
佐藤：私は、当町に三十年位住  
んでいますが、町のことを知ら  
なすぎたと思っています。

木伏：新津市では、昨年からの  
ゴミ袋が有料化になって、燃える  
ゴミ用と燃えないゴミ用と区別  
しています。キッチンと分けて出  
さない業者の方が置いていく  
そうです。又、町内会ごとにリ  
サイクルできる缶・ビン・新聞  
紙・古紙類を回収し現金に替え  
た報告がされます。  
山田：町のゴミの量はどんな具  
合いですか。  
司会：増えています。増えた分  
は負担金としてはね返ってきま  
す。



左から米田さん、山田さん、青木さん

の理解が必要で、PRをし  
てゴミ処理に対する意識を考  
え、負担金の有効利用と  
町民も一緒になってゴミの減量  
化につとめることができればよ  
ろしいのではないですか。  
小林：生ゴミが家庭ではい  
っぱい出ます。生ゴミを肥料にす  
れば、かなりの量が減りますね。  
佐藤：今、トレイや牛乳パック  
もスーパーで引き取ってくれま  
す。そこで、買物袋も遠慮する  
ようにすればぐつと減ります。  
青木：ドイツは、国と産業界と  
住民が一体となって進めている  
からうまく回転していると思  
います。この問題は、国の中でキ  
チンとしたものを作って進めて  
もらいたいと思います。  
小林：こちらに来て思ったん  
ですけど、みんな自分たちはこ  
こで今後ずっとお世話にならな  
ければならないという責任感と  
いうか自覚が強いから、皆さん  
に協力を要請すれば完璧とまで  
はいかなくても比較的協力して  
くれると思いますがね。

木伏：燃えるゴミで、平成二年  
から七年の五年間で約六百も  
増えています。  
阿達：車で来てゴミと捨ててい  
く人もいます。  
青木：ゴミ処理だけでなく資源問  
題や環境問題に関わるとい部  
分にまで意識がいかなければ解  
決になりませんね。  
小林：各市町村で色々な方法  
でやっていると思いますが、町  
の税金を使っている訳ですから  
袋を有料にする二重取りでは  
ないかという声もあります。小  
須戸町も有料化に踏み切って  
もいいのではないかと思います。  
阿達：有料化に向けても、住民

ていただきたい。かさばる物が  
とにかく多いですね。流通の段  
階で何かいい方法はないもので  
しょうか。  
米田：ゴミ処理対策は大変だと  
いうことを実感したので、環  
境整備の充実を願うものです。  
小林：品物の包装にも工夫し

私たちの一言  
司会：最後にゴミ問題について  
提言などありましたらお願いし  
ます。  
田沢：町の負担金やゴミでこれ  
だけ負担している現状を機会あ  
ることにPRしてもらいたい  
です。  
佐藤：粗大ごみの捨て方も山に  
捨てたり、河川敷に捨てたりの  
不法投棄は絶対にやめてもら  
いたい。  
小林：子供の時から環境につ  
いてを覚えていってもらおうよ  
うにしたいです。  
山田：日本人の意識を変えない  
とだめで、包装で中身を判断さ  
せようというんだから...。  
吉田：企業と話し合ってみて、  
解決策をつくってもらいたい  
です。  
小林：品物の包装にも工夫し

い。広域地域の市町村と話  
し合いも必要になってくると思  
います。それで小須戸町から研  
究での成果を他市町村に働きか  
けて、自然保護・自然環境とい  
う問題を含めながら、有料化に  
進めていただければいいのでは  
ないかと思えます。  
司会：まだまだお話は尽きない  
かと思いますが、今日は研修視  
察に参加された皆さんの他に助  
役さんにもご出席をいただいで  
このような会ができました事は  
大変意義ある事でした。  
小須戸町が益々良い環境のも  
とに発展しますようお願いして  
本日の座談会を終わります。  
ご出席の皆さん大変ご苦労さ  
までした。

私はこの機会に皆さんから  
環境アドバイザーになって  
いただき地域で活躍していただ  
ければと思っています。  
最後の締めくくりとして、団  
長の阿達さんから感想を述べて  
いただきます。  
阿達：研修しようということで  
意識が持たれたのですが、一般  
の人に意識を持って下さいとい  
うのも難しいと思います。  
そうすると、つとより早い  
は有料化が一番ではないか。  
有料化、即自然保護とか色々  
な面に効果が出ていることを、  
後で意識してもらっています。  
ある程度有料化を進めていか  
なければならぬと同時に、も  
う一つ町の人たちのお金、つま  
り税金を他の事業に使われる金  
まで、ゴミの方に使っているん  
ですよというふうなPRをして  
いただくという事も大事なこ  
とではないかと思えます。充分納得  
する手順を踏むようお願いした

景観保護対策等、環境開発に  
基づいた総ての建設対策が、  
様々な部局で実施されている。  
●ゴミ・産業物処理対策  
生産・購入・廃棄という過程  
で出されるゴミ処理対策を、既  
存のゴミ埋立地の収容限度を見  
越しながら進めている。フライ  
ブルクでは、空気汚染の理由も  
あり、原則的には焼却法を一切  
とらない方針である。産業廃棄  
物でも、家庭ゴミでも、基本的  
にはゴミを出さない対策を前提  
にした処理法を検討、住民の意  
識を促す方法を考え、官民共同  
での対策をリサイクルングシ  
ステムに基づいたゴミ分離拾集シ  
ステムにより処理している。大  
規模なゴミ減量システムも検討  
中で、今後のゴミの出る量を計  
算しながら、新しい処理方法を  
絶えず検討している。

ドイツ南西部、フランス・ス  
イスの国境近く位置するフライ  
ブルクは、石畳とゴシック建築  
の教会で美しい中世の面影を残  
す町である。  
ドイツでは二番目に古い伝統  
を誇る大学も学生数約二万四千  
人となっており、学術的であ  
り、若々しい雰囲気のある町でも  
ある。それ故、フライブルクは  
学術の町、ゴシックの町と言われ  
、又、バーデンワインの特産地も  
そばに控えている所から、ワイ  
ンの町とも言われている。  
最近では、ドイツの他の都市  
に先駆けて環境行政を行い、そ  
れを町づくりの柱とした、新し  
い地域システムの開発を進めて  
いる。

緑化対策、居住地開発対策



# プロのコーチで 町民スキー教室

## 上手に滑れるようになりました

二月二十三日(日)、荒れに荒れた週末の天候は活き、穏やかな朝を迎えてホッとしました。小学生十名と一般女子九名の参加者に乗せ、町のマイクロスは、一路、須原スキー場へと向かいました。

現地に着くや天候は小雪となりましたが、新雪たつぷりのゲレンデは、食欲ならぬ滑降欲をそそります。黙々と支度を整える受講生の顔には、誰一人不安の影は見られません。意欲と自



ゆっくりでいいですよ。

信に満ち満ちたかのような元氣凛とした態度でスキー学校の二人の先生を迎えました。

A・Bの二班に分かれ、午前中二時間のレッスンを受けました。みんなの切なる願望は「ハの字のボーゲンよきようなら」であるわけですが、結果は如何に？個人差はかなりの幅が有りそうです。コーチの指摘にうなづいたり、滑っては首を傾げたり、時にはおほめの笑みも浮かぶ、和やかな雰囲気も感じられます。

### 生のおきてを みんなどうぞ

第四回目を迎えた地域公演です。生の芝居を親子で楽しむ事ができる絶好の機会です。

今回は、いろいろな仕掛けがしてある大型絵本をめくりながらの楽しい舞台になりそう。映画やテレビとは全く違う感動を、是非大人の方も子供さんと一緒に味わっていただきたいと思えます。

劇団はてな公演  
「ソラからおちてきたボク」  
日時 三月二十三日(日)  
午後二時～三時

会場 中央公民館三階ホール  
・参加協力券は、五十嵐順子宅(三八一二八七)又は齋藤美登宅(三八一四九九)と中央公民館にあります。  
・四才以上 千円  
(当日三百円増しとなります)  
主催 めつきらもつきらの会

◆ふれあい電話相談  
四月の相談日  
一日(春休み中特別設定日)  
四日(金)十一日(金)十八日(金)二十五日(金)  
受付時間 午後一時～五時  
電話番号 三八一三〇〇

◆新刊図書案内  
中央公民館  
クレオパトラ(上・下)  
宮尾登美子  
「超」勉強法(実践編)  
野口悠紀雄  
村上春樹、河井雄三に会いにい  
く  
村上 春樹  
フルハウス 柳 美里  
人の縁にて川渡る 大倉 修吾  
「考える力」をつける本  
齋田 隆史  
その人のどこが人を魅きつける  
のか  
神津カンナ  
聖将上杉謙信 小松 重男  
左手に告げるなれ渡辺 容子  
朝日新聞報道写真集97  
朝日新聞社  
警女 信仰と芸能 鈴木 昭英  
他 二十二冊

◆ふれあい会館  
少年日(上巻・下巻)  
妹尾 河童  
生きる勇気が湧いてくる本  
遠藤 周作  
降魔の剣 北方 謙三  
2才 中島みゆき  
桃色浄土 坂東眞砂子  
鷲の驕り 服部 真澄  
暴力租界 大藪 春彦  
天皇の密使 丹羽 昌一  
不機嫌な果実 林 真理子  
目からウロコのパソコンサ達法 藤田 英時  
不機嫌な時代 ビータータスカ 曾野 綾子  
運命をたのしむ 徳川慶喜家の子ども部屋 榊原喜佐子  
違法弁護 中嶋 博行  
他三冊

◆会員を募集します  
童謡をうたう会  
毎月第一火曜日  
午後七時三十分～九時十五分  
午後第三火曜日  
毎月第三火曜日  
午後一時三十分～三時三十分  
会費 四月と十月に千二百円納入  
◎ロマンダーの会(紙粘土細工)  
毎月第一・第三水曜日  
午後一時～四時まで  
会費 月千円(他に材料費実費)  
◎学習会(四月より)  
ダンベル体操と踊り  
毎月第四土曜日  
午後一時～四時まで  
会費 月三百円  
※会場は、いづれも中央公民館  
問い合わせ先:女性の会こすど事  
務局 三八一二五〇

シリーズ  
「今、子どもたちは」(7)  
「ありがとうそしてさよなら」

矢代田小学校

三月一日、恒例の六送会が行われ、お世話になった六年生に感謝の気持ちをこめて、楽しく和やかな雰囲気の中で集会しました。また、今年も百名以上の保護者の方々から参観をいただき会を盛り上げていただきました。

音楽と拍手の中、アーチをくぐってこやかに六年生入場。まずグループごとにわかれて王冠をみんなで作って、六年生にプ

三月一日、恒例の六送会が行われ、お世話になった六年生に感謝の気持ちをこめて、楽しく和やかな雰囲気の中で集会しました。また、今年も百名以上の保護者の方々から参観をいただき会を盛り上げていただきました。

音楽と拍手の中、アーチをくぐってこやかに六年生入場。まずグループごとにわかれて王冠をみんなで作って、六年生にプ

三月一日、恒例の六送会が行われ、お世話になった六年生に感謝の気持ちをこめて、楽しく和やかな雰囲気の中で集会しました。また、今年も百名以上の保護者の方々から参観をいただき会を盛り上げていただきました。

音楽と拍手の中、アーチをくぐってこやかに六年生入場。まずグループごとにわかれて王冠をみんなで作って、六年生にプ

## 2月の ナイスデイ



8日 「花いっぱい教室」肥料の知識と施肥方について学んでいる皆さん



14日 乳幼児家庭教育学級「つくしんぼ」子供の栄養についてを栄養士の五十嵐先生からアドバイスを受けました。



18日 「話し方教室」すっきりと相手はつきり、ゆっくりに伝えることを心がけよう。



◆新刊図書案内  
中央公民館  
クレオパトラ(上・下)  
宮尾登美子  
「超」勉強法(実践編)  
野口悠紀雄  
村上春樹、河井雄三に会いにい  
く  
村上 春樹  
フルハウス 柳 美里  
人の縁にて川渡る 大倉 修吾  
「考える力」をつける本  
齋田 隆史  
その人のどこが人を魅きつける  
のか  
神津カンナ  
聖将上杉謙信 小松 重男  
左手に告げるなれ渡辺 容子  
朝日新聞報道写真集97  
朝日新聞社  
警女 信仰と芸能 鈴木 昭英  
他 二十二冊

◆新刊図書案内  
中央公民館  
クレオパトラ(上・下)  
宮尾登美子  
「超」勉強法(実践編)  
野口悠紀雄  
村上春樹、河井雄三に会いにい  
く  
村上 春樹  
フルハウス 柳 美里  
人の縁にて川渡る 大倉 修吾  
「考える力」をつける本  
齋田 隆史  
その人のどこが人を魅きつける  
のか  
神津カンナ  
聖将上杉謙信 小松 重男  
左手に告げるなれ渡辺 容子  
朝日新聞報道写真集97  
朝日新聞社  
警女 信仰と芸能 鈴木 昭英  
他 二十二冊

## リストアップ

「花の会」という名にふさわしく生け花のサークルです。流しは小原流で、月二回ひらかれていきます。

数年ほど前になりましたけれど、渡辺裕子先生が、小須戸小学校を退職された頃、先生に生け花を教わる小さな集まりが出来ました。そして次第に人数も増えたので、公民館のサークルに仲間入りをさせてもらったのです。

お花屋さんで求めた花の他に、四季おりおりの花を活ける事も多く、野や土手や庭先から先生が走り回って持って来て下さるその花のステキな事!

春浅い土手に芽吹き始めたねこやなぎ・まだ小さい蕾の固い椿・野いばらの季節・あじさいの頃・紫蘭など。

ああ、どうして自然の木や花は、季節どおりに、生懸命に咲くのだろう。そのけなげさに感動してしまいます。

## 花の会

そんな花々を活けている内に心が満たされ、和やかな気分になってゆくのを感じます。

人にも、お花にも、熱意と包容力のある愛情を惜しまない先生に、指導して頂く事が出来るのが、花の会の一番の魅力だと思っております。



お花屋さんで求めた花の他に、四季おりおりの花を活ける事も多く、野や土手や庭先から先生が走り回って持って来て下さるその花のステキな事!

俳句  
ご馳走は夫への感謝大晦日  
女正月母につきゆく朝の市  
かけながす水のかたさや冬青葉  
白菜を剥けば刺くほどみづみづし  
構へてはかまへなほして吉書筆  
ほの暗き障子にうつる佛間の灯  
鳥影の過ぎりぬ朝の白障子  
どんと跡掃けば夕べの残り熱  
門前の煮込みこんにやくはれ萩

短歌  
街ゆくも久しくあれば風風きて衣に  
春の色移る見ゆ  
花木瓜の出荷間近や此の街に雁木屋  
並の灯り温とし  
いもうとを花に埋めて送りたる娘の  
着し喪服黄陰にゆるる  
箸洗う音聞きながら小正月母亡き里  
は遠くなりたり

川柳  
衣食住足りて平和な丸い卓  
離婚劇トップニュースになる平和  
食卓を囲む平和な大家族  
平和です懐メロに酔う二人

文芸欄  
高橋ただし  
小林みゆる  
松沢キヨ  
渡辺信子  
伊藤照溪  
我妻清作  
野俣怜子  
村山浩子

須藤文子  
小林富沙子  
田中美根子  
五十嵐香月  
間野良遊  
松沢キヨ  
間野えり  
篠田悦子  
渡辺信子